

Weekly Report

2023-24年度
国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう

事務局：460-0003

名古屋市中区錦1-13-19
名錦ビル7F

TEL: 052-211-3803

FAX: 052-211-2623

MAIL: 2760_nagoya@mizuho-rc.jp

URL: http://www.mizuho-rc.jp/

創立：1980年(昭和55年)1月10日

会長：千秋 季頼

幹事：本多 誠之

クラブ広報委員：萩原 孝則

例会日：毎週木曜日PM12:30～

会場：ヒルトン名古屋

2023-24年度
名古屋瑞穂ロータリークラブ
会長のテーマ

「より楽しく、誇りある瑞穂ロータリークラブ」
～明るい未来に向けて、希望を生み出そう～

第2084回例会

～水と衛生月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2024年3月28日(木) 晴 第30回例会

司会：鳥山政明 会場委員長

斉唱：「日も風も星も」

ゲスト：米山奨学生 DAO THI THU NGANさん

会長挨拶

千秋季頼会長

皆さん、こんにちは。いよいよ、3月の最終週となり、私の任期も残すところ、あと3か月となりました。本日で、今年度の例会は30回目ということになるようです。台湾への訪問も終わって、私の会長任期もいよいよ最終段階に入ったような気がします。

さて、4月には伊勢での家族会も控えています。折角の機会ですので、参拝の作法をご紹介しようと思います。参拝の基本は心です。心身を清め、神様に對面し、日ごろの感謝を捧げ、願いを伝え、神意を聞くこと、これらひとつずつです。ですので、作法は二の次でいいと思いますが、皆で揃って参拝するという場合は、作法にのっとった方が全員がきれいに揃って参拝できるという利点もあります。

まず、鳥居をくぐる際は一礼するのが作法と言われていますが、鳥居から先は、神様がお見えになる神聖な場所だという認識を持っていただければいいと思います。そして手水舎で手と口をすすぎますが、これは禊を簡略化したものです。古事記にはイザナギノミコトが死者の国である黄泉の国から帰ってこられた時に、身につけているものを全て脱ぎ、水につかって禊祓をしたと書かれています。それによって穢れを落としました。これが禊の起源です。古い神社の多くは清流の近くにあるので、この清流で参拝する人が禊をして身を清める場所でもあったのです。

今でも、伊勢の神宮には五十鈴川につかって神職は川で禊をしています。滝に打たれるという行や、茶室に入る前に手や口を清める蹲も同じ考えから来ており、川や海での禊が、いつ手水の鉢に変わったのかはわかりませんが、鎌倉時代以降のようです。手水舎で水を使って身を清めることを『手水を取る(使う)』と言います。

作法の順序は、まず右手で柄杓を取り、清水を汲んで左手にかけ、次に柄杓を左手に持ち替えて、右手を清め、ふたたび柄杓を右手に持ち、左手のひらに水を受けて口をすすぎます。そして、柄杓を伏せて元に戻します。手水舎で心身を清めたら、参道を進み神前に向かいます。このとき、参道の真ん中を歩かないようにするのが礼儀です。中央は正中といい、神様のお通りになる道であり、最も神聖な上位とされとされているからです。ただし、拝殿でお参りするときは中央でも構いません。

また伊勢も熱田もそうですが、参道に玉砂利が敷かれている神社が多いです。敷き詰められた玉砂利は、見た目にも美しいですし、歩く際の泥はねを防ぐなど、境内とお参りの人たちが汚れないよう、清らかに保ってくれるという役割も担っています。玉砂利の砂利とは、細かい石という意味のサザレがなまったもの、玉は魂や御霊のタマに通じ、立派なとかきれいなを意味する美称です。ご正殿の周りにも白い石が敷き詰められているのは、玉砂利を敷くことで、昔の河原の姿をイメージしている。また、その場所を祓い、お清めしている訳です。

参拝前の作法までを説明するのに、結構な時間を使ってしまいましたので、本日の説明はここまでとしまして、拝殿前での参拝の仕方については、次週、ご紹介することにいたします。



出席報告

杉江建亮 出席委員

会員69名 出席41名 (出席計算人数56名)

出席率 67.21%

ニコボックス

杉江建亮 ニコボックス委員

- ・ 2人の孫が希望の中学と高校へ入学できました。 長瀬憲八郎さん
- ・ 先週はコロナにかかって寝ていました。 泉 憲一さん
- ・ 一昨日鹿児島出張の帰路、フライトがドタキャンになり新幹線最終で名古屋に帰りました。疲れた。 森 裕之さん
- ・ 先日は、岩田さん、長瀬さん、渡辺さんゴルフご一緒ありがとうございました。雨でしたが、風邪などひかれませんでしたか? 長谷川 隆さん
- ・ 昨日脳ドッグへ行ってきました。心配です。 萩原 孝則さん
- ・ 台湾では大変お世話になりました。ありがとうございます。 榎田 篤弘さん
- ・ 父が1月9日から骨盤骨折の為、入院しておりましたが、本日退院しました。ありがとうございました。 杉山 裕一さん
- ・ 4月から新瑞穂支店長から、名古屋支店長に転勤となりました。引き続きよろしくお願い致します。 山崎真一郎さん
- ・ 台湾ではお世話になりました。はしゃぎすぎて帰国後熱を出してしまいました。 田中 良知さん

幹事報告

本多誠之幹事

- ・ 3/28(木) 13:40～ 新旧会長・副会長・幹事懇談会
ヒルトン 4F「杉の間」
- ・ 4/4(木) 12:30～ 例会 ヒルトン 4F「竹林の間」
13:40～ 第10回理事会 ヒルトン 4F「竹園の間」
- ・ 4/7(日) 地区研修・協議会
名古屋マリオットアソシアホテルにて行われます。
ご参加の方、集合は11:00となります。
集合場所をご案内させていただいております。
- ・ 4/11(木) 振替により例会変更

奨学金授与

DAO THI THU NGANさん



委員会・同好会報告

野球部

昨日、皆さんへ請求書が届いているかと思います。新しいユニフォームを新調して、サイズ合わせをさせていただきました。ユニフォーム、キャップ、ストッキング、リュックの4種類の請求書になります。6月には試合が決まりそうですので、新しいユニフォームで戦えるかと思います。よろしくお願致します。

会場委員会

次週4月の第一回目の例会ですが、お食事は若干カジュアルな食事を予定しております。ハンバーグ定食を予定しております。ご承知おきのほどよろしくお願致します。

皆様、こんにちは。星城大学経営学部のダオティトゥガンです。冬が和らぎ、ようやく春めいてきました。本日は私の最後の例会になります。この一年間、大変お世話になって、心よりいっぱい感謝しております。この場を借りて、お礼を申し上げますと思います。誠にありがとうございました。



時間は早いもので、あっという間に1年間が終わりました。私にとってこの一年間はとても素晴らしい人生が過ごせました。奨学生になってから、学費の心配がなくなって、ロータリーの皆様との食事、交流、日本の文化の体験がよくできました。それ以外、この一年中で、私は早く内定がもらえて、卒業論文を完了して、車の運転免許証に合格できて、一年間S点数がもらえて、ビザ申請ができて、久しぶりのお正月を家族と過ごせて、マレーシアに旅行できて、大阪城や富士山や東京スカイツリーを見られて、名古屋瑞穂ロータリーの皆様のおかげで、私はいっぱい幸せなことができて、本当にありがとうございます。

1年生から学校で何回も奨学金を応募しましたが、ずっと失敗しました。しかし、私は諦めず、GPAを向上させ、日本語N1の合格、ビジネス日本語を取得して、ロータリー米山記念奨学生になるために絶えず努力しました。推薦状を受け取るには大学で何十人もの競争相手に勝ち、学校の面接に合格しなければなりません。それに、推薦後、小論文を書き、5人の審査員との面接試験に合格しなければなりません。

それを実現するために私は多くの努力をして、ついにそれを実現することができました。ロータリー米山記念奨学金はすべての留学生の夢です。経済的なサポートを提供するだけでなく、日本文化について交流し、学ぶこともできるからです。ロータリー奨学生になることは私にとって学習の過程で成功したと言えるので、最初から諦めなくてよかったと思います。

1年間という短い期間ですが、この奨学金も私の夢の実現に向けての一步を踏み出すのに役立ちます。私は小学校1年生から社長になりたいという夢を見てきました。お金の好きもありますが、主な理由は将来、両親に幸せな生活をあげたいことです。私の両親は農家で、胡椒、カシューナッツ、野菜また豚肉、鶏肉を育てています。両親が毎日苦勞している姿を見て、私は幼い頃から「農家よりも社長のほうが儲かると思って、社長になるべく勉強を頑張ろう」と決意していました。高校を卒業してから、日本に留学することを決めたので、1年間ホーチミン市で日本語学校を学びました。

二十歳で日本にきて、IC NAGOYA日本語学校に入学して、2年間日本語を勉強しました。日本語学校が終わったら、将来、日本でベトナムレストランを経営したいので、星城大学で経営学部に入りました。先週の3月20日に大学を卒業しました。会社の運営仕方や経営の経験を積むために、4月から日本の企業で貿易事務の仕事します。

時間がたって、私たちの考えは少しずつ変化していくと思います。私は社長になるという夢を叶えたいと思っていますが、今の私は両親の手伝いだけでなく、女性も成功して、社会に貢献できることを証明したいと思っています。子供の頃、ジェンダー不平等をあまり感じませんでしたが、大人になるとそれを深く感じるようになりました。社会は非常に現代的ですが、男性と女性立場の間には依然として見えない壁が存在していると思います。

私はベトナムの北部出身の父親と中部地方出身の母親を持つ家族に生まれました。父の家族は家系の継承を非常に重視しているので、息子がいないことは非常に非難されます。そのため、父の家族は、娘を学校に通わせるのは費用がかかるが、後に娘が結婚すると両親を養うことができなくなるため、何のメリットもないと常に考えていました。それで私が留学を決めたとき、ある親戚が「女の子は何もできないから親が後悔するだろう」と言いました。私はそれを聞いたときはとても悲しくなりましたが、私に両親のような苦勞をさせたくないために、全面的にサポートしてくれて、両親にも感謝しております。

男女不平等はベトナムだけでなく、世界中の多くの国でも発生しています。そのために、私はこの社会に対するネガティブな考えをなくすために貢献したいと思っています。もちろん、これは簡単ではありません。家でただ料理をしているだけでは、勤勉な男性たちと同等になることはできません。しかし、日常から少しずつ変えていけば、きっとすべてが変わっていくはずですよ。

たとえば、女性も仕事をして貢献する時間を確保できるように、男性は妻の家事や子供の学校への送迎を手伝うべきです。女性が安心して働けるために、政府からも保育園を増やすべきです。

そして、ジェンダー不平等を無くするために、最も重要なことは教育です。ベトナムでは、親が子供の費用を100%負担しなければならないため、勉強は義務ではありません。したがって、困難な家族にとっては非常に困難です。私の地元では、学校に行けず重労働の仕事をしなければならない女性たちをたくさん見てきました。

女性は早く結婚しますが、家族を養うのに十分なお金がなく、子供たちは学校に通えないため、不幸になります。男性は仕事がないので、遊んだり、盗んだり、ギャンブルしたり、麻薬を売ったりします。したがって、十分な教育を受けていないことは、社会に多くの悪影響をもたらすこととなります。

その状況を見て、私は社長になる夢を叶えたら、地元で外国語センターを開設したいです。生活の困難ある学生に授業料を免除したいです。15年前、私が初めて日本語を、見ました。当時、私の親戚が日本から持ってきた日本語の本です。その時、私は日本語が母国語と違っていることを気づき、ひらがなの書き方を勉強しました。

そのために、今私は綺麗に日本語が書けます。市岡さんからも褒められて、奨学生を選ばれる理由になりました。それ以来、私はいつも日本のことを考えていて、この言語を使えるようになりたいと思って日本に行き、その決断が私の人生を変えました。そのために、私のように、子どもたち特に女の子に外国の文化についてもっと知り、より良い未来を目指して、いい仕事が探せて、社会に役立つ人材になってもらうために、外国語学校を開校したいと考えています。

私は社長になりたいという夢を常に持ち続けていると言えますが、その夢を大きくしようと努めています。それは簡単なことではなく、失敗もたくさんあると思いますが、私は諦めません。将来を予測する最良の方法は、自分の将来を創造することです。

私たちは出生時に性別を決めることはできませんが、私たちはこの世界の一部です。したがって、私も文明的で平等な社会の実現に力を注ぎたいと思っています。

私の夢をサポートしてくださったロータリー米山記念奨学金にとっても感謝しています。皆様は、私の将来になりたい理想像とも言えます。ロータリーがさらに世界中、特にベトナムで広がり、多くの留学生が夢を実現できることを願っています。

最後になりましたが、名古屋瑞穂ロータリーの皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

例会のご案内

■今 週 4月4日 (木)

卓 話：愛知県立瑞陵高等学校 森重統先生
時 間：12:30～
場 所：ヒルトン名古屋4F「竹林の間」

■次 週 4月11日 (木) R規定により休会

■次々週 4月14日 (日) 春の家族会

時 間：12:30～ 豚捨 若柳にて例会予定
場 所：皇大神宮 (伊勢神宮 内宮)